

金融経済教育ビッグバン

～金融経済教育導入室および「日本版シチズンシップ」の導入～

早稲田大学商学部
阪上 賢太
木村 知晶
大澄 好成



■ 1. 金融経済教育の必要性

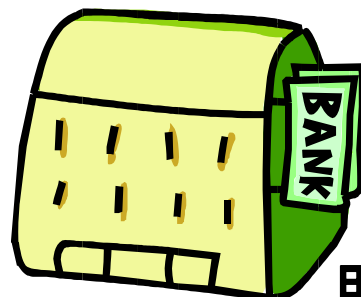
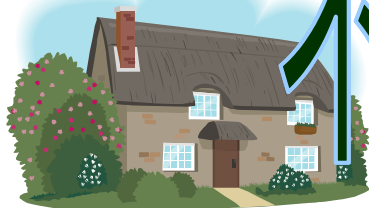
- なぜ金融経済教育が必要なのか？

お金を使わずに生きることは

不可能！



消費




貯蓄



投資

終身雇用制度や年功序列賃金制度の崩壊・・・ 年金・社会保障不安・・・





自らのお金を適切に管理する力が
求められるようになってきている！

今こそ「おカネ」のリテラシーを
身に付けるための教育を！！



■ 2. 我々の考える金融経済教育



我々が考える、本当に必要とされる金融経済教育とは・・・

消費する主体としての「お金のリテラシー」
を身につけるため

➡お金を儲けるための知識・技能の習得

「*Better*な生活を目指して」、自らのお金を
適切に管理・運用する知識と技能を理解し
修得するための入門的位置付け



■ 3. 現状分析



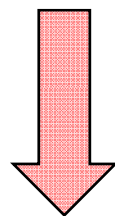
I . 政府・行政及び現場での取り組み



昭和27年 貯蓄増強中央委員会発足

貯蓄教育

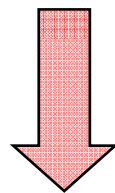
→国家的な貯蓄奨励運動



昭和63年 貯蓄広報委員会に改称

金銭教育

→「学校における金銭教育の進め方」の作成



平成13年 金融広報中央委員会に改称

消費者教育

→生活設計や、資金計画の考え方についての情報をホームページや講演会などを通じて提供



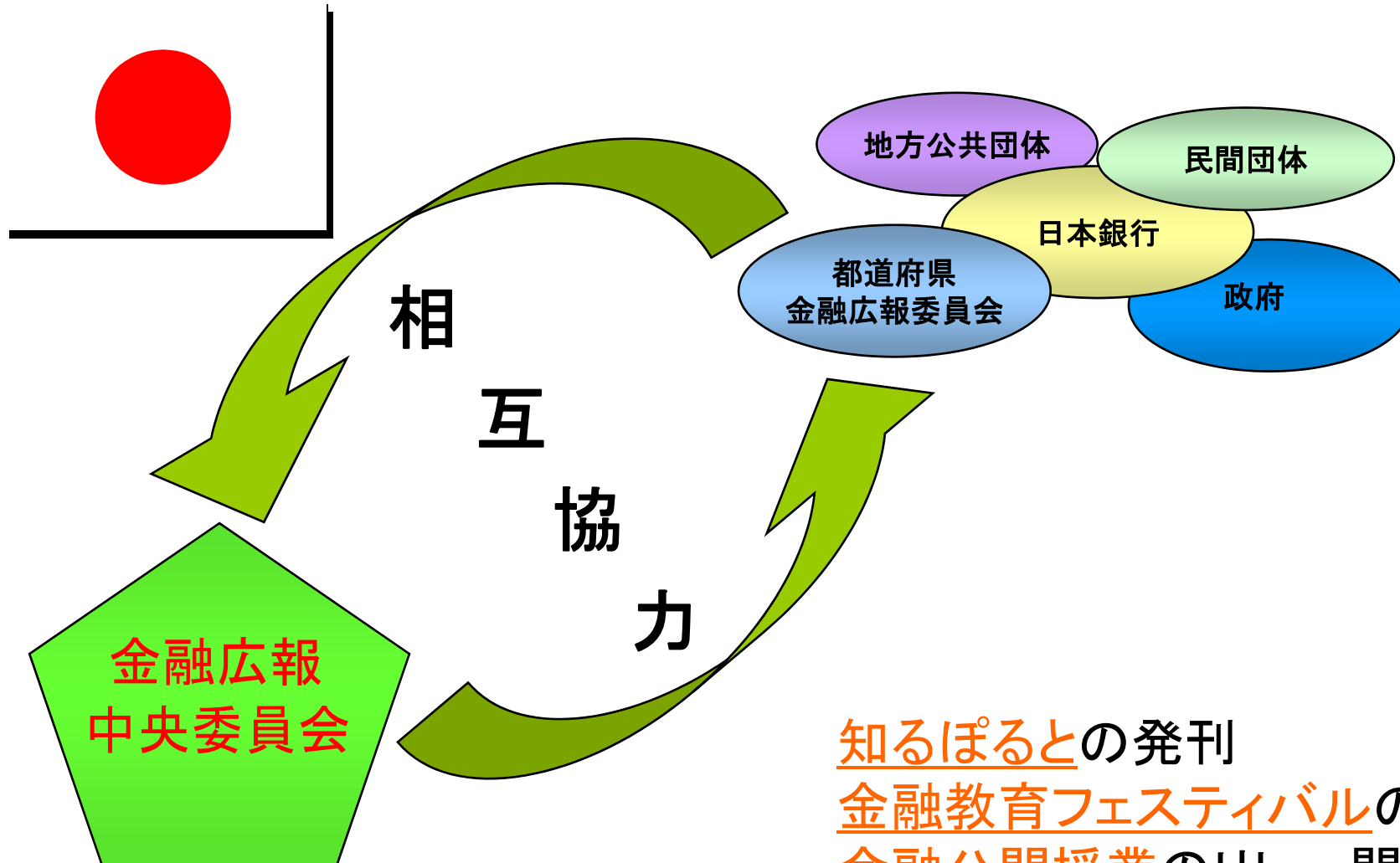


平成17年6月金融経済懇談会

「金融経済教育とは、金融や経済についての基礎知識と、こうした知識に立脚しつつ自立した個人として判断し意思決定する能力（金融経済リテラシー）を身に付け、充実するための機会を提供すること。」

金融広報中央委員会

平成17年を「**金融教育元年**」と名付ける！

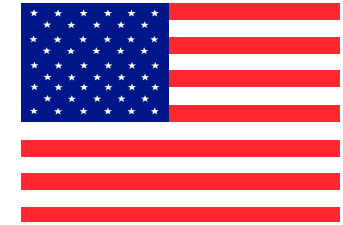


知るぽるとの発刊
金融教育フェスティバルの開催
金融公開授業のリレー開催



Ⅱ． 諸外国における金融教育の現状

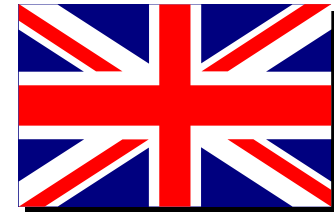
アメリカにおける金融経済教育



- ・金融経済教育関連の授業が**必修**になっている州もある
- ・全米の高校生の**20%**が個人金融の授業を履修
- ・NCEEの教科書「Financial Fitness for Life」では、「所得」、「支払いとクレジット」、「**金銭管理**」、「**貯蓄と投資**」などをテーマに実践的な教育を行っている

⇒実践的な投資学の教育

イギリスにおける金融経済教育



- ・イギリスでの金融経済教育はシチズンシップ（市民としての基礎的な人間力）の授業の中で、全国横断的に統一して行われている
- ・シチズンシップは日本の公民教育と比べて非常に斬新なものとなっている（ex.金融教育、起業家教育）

⇒ 一般教養としての金融経済教育



Ⅲ. 民間の取り組み



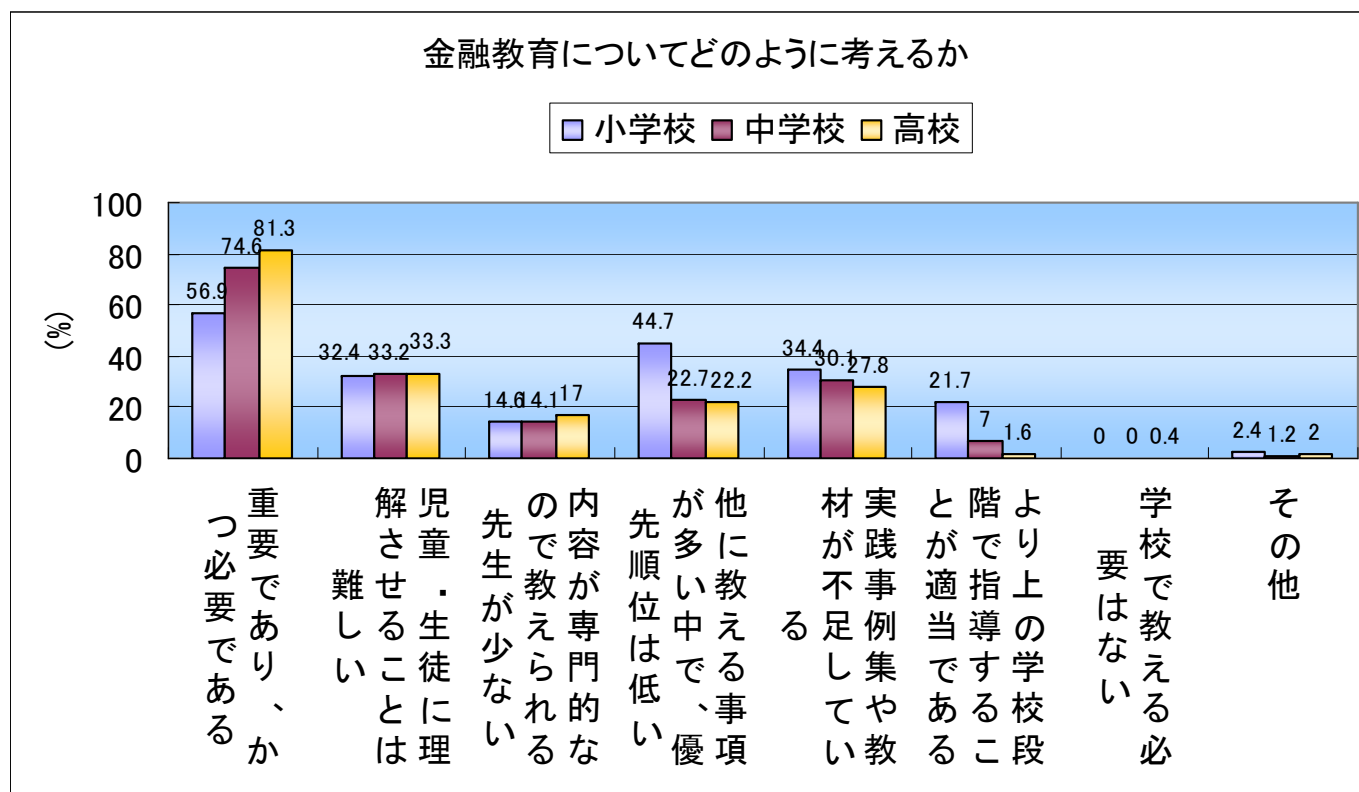
- ① 書籍・パンフレット等の刊行
- ② ウェブを通じた金融経済教育
- ③ 金融経済教育イベントの開催
- ④ 学校における特別授業

しかし、十分に活用されているとはいい難い！



■ 4. 日本の金融経済教育における課題

金融教育に関する現場の考え

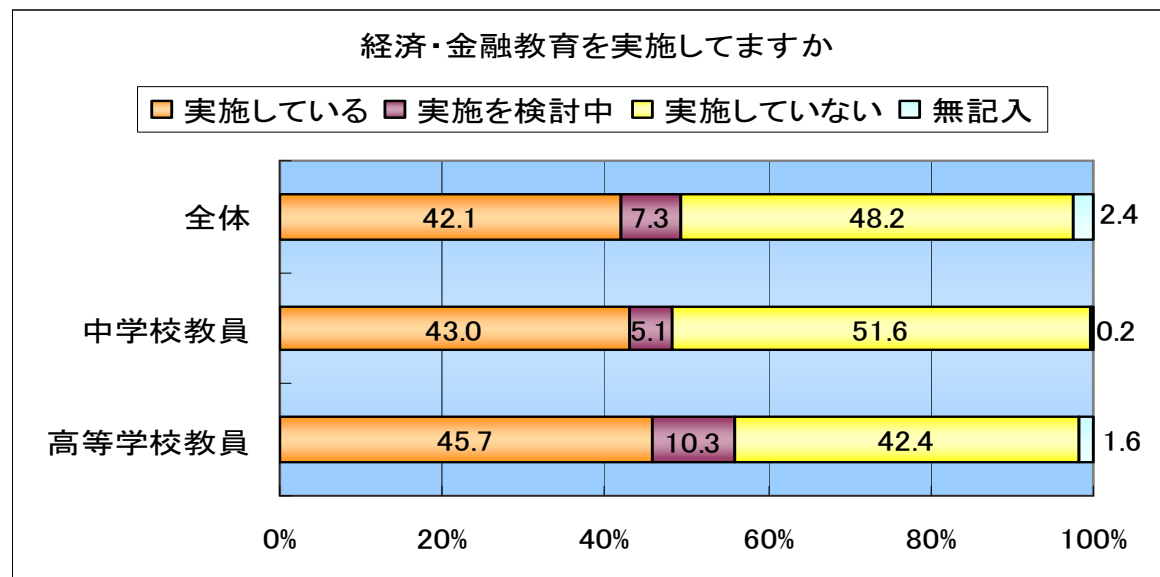


出所：金融庁総務企画局政策課「初等中等教育段階における金融経済教育に関するアンケート」より作成

➡ 「重要であり、かつ必要である」という回答が最多！

経済・金融教育の実施状況

BUT

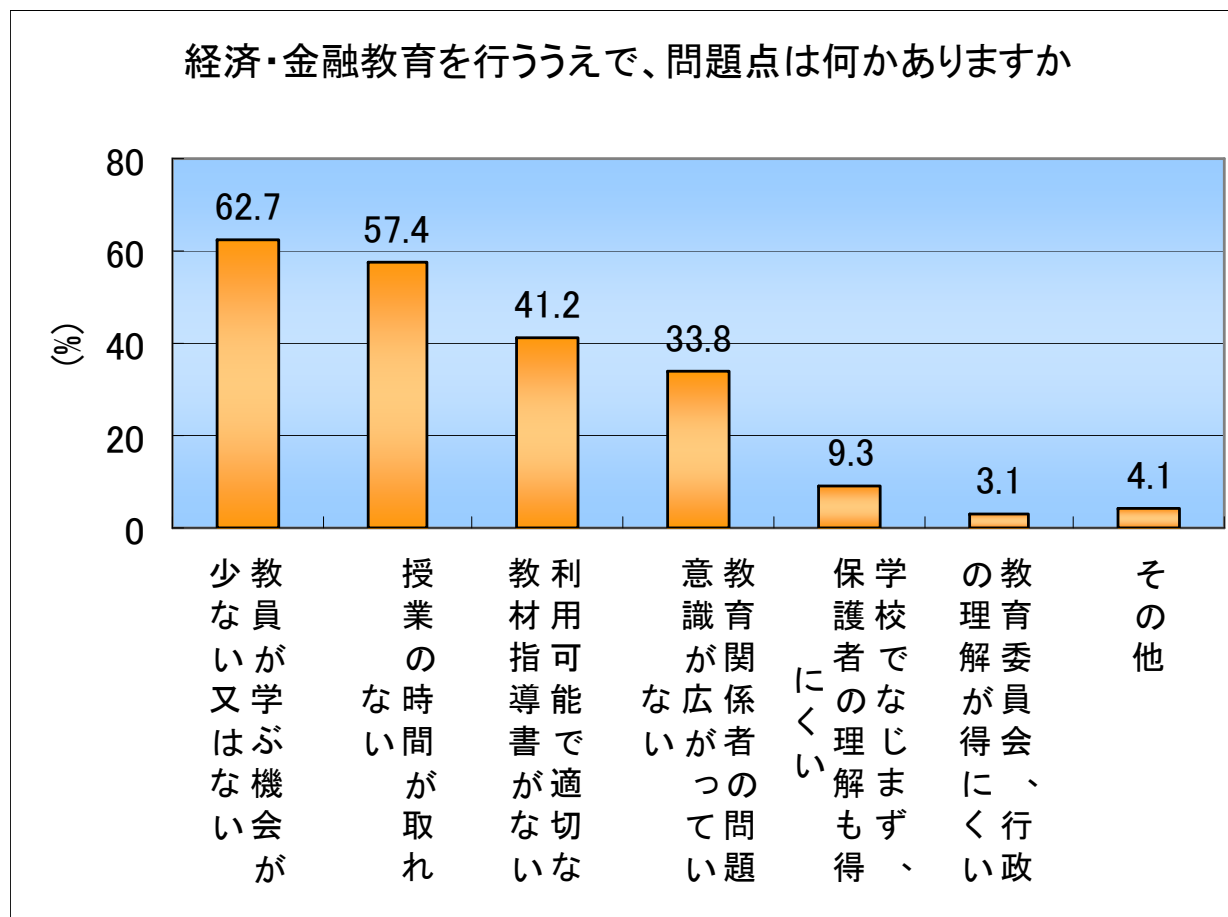


出所:『金融証券知識の普及に関するNPO連絡協議会』、『証券知識普及プロジェクト』
「学校における経済・金融教育の実態調査」より作成

➡ 「実施している」との回答は42.1%にすぎない

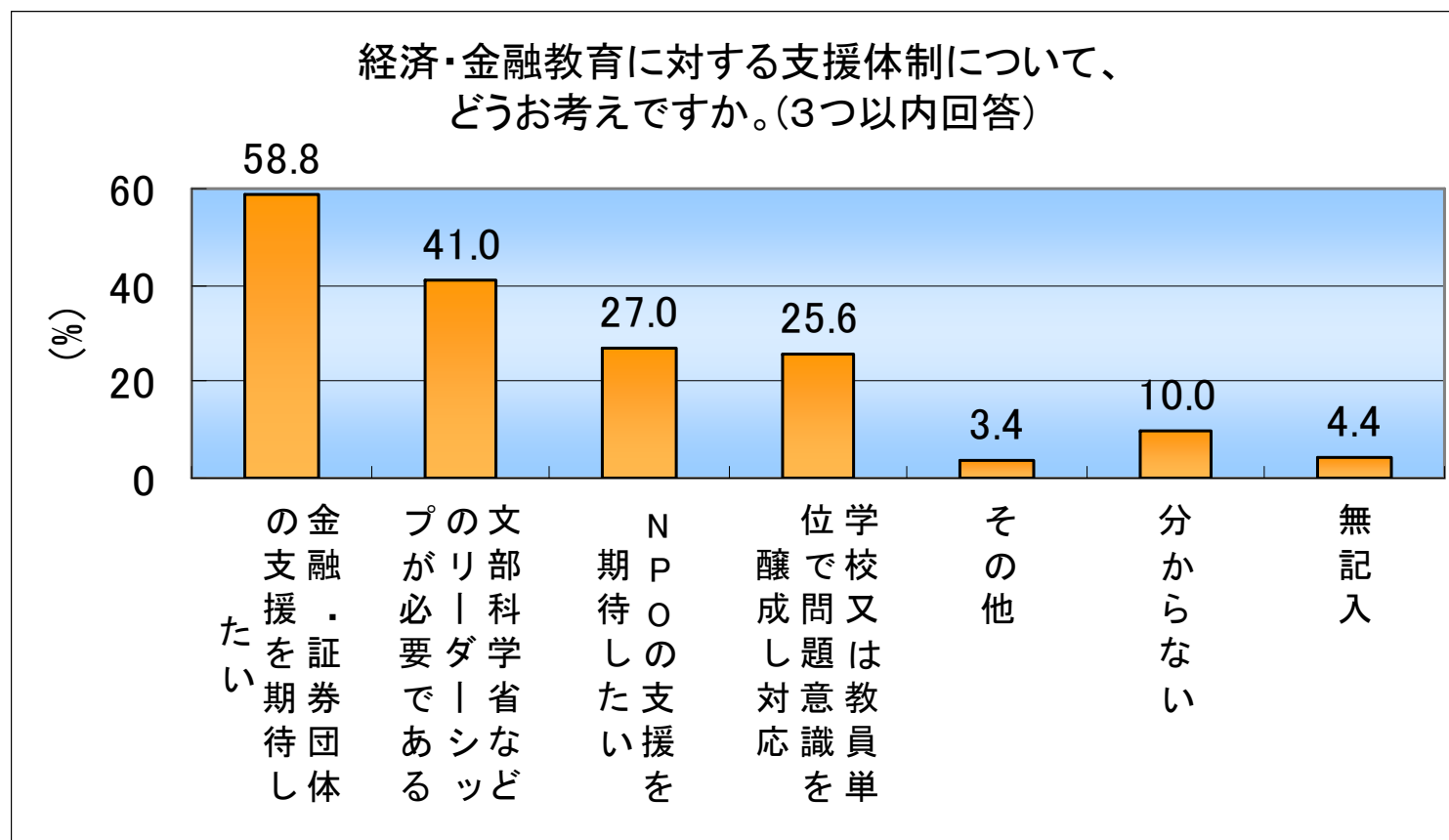


金融経済教育を行う上での問題点



出所:『金融証券知識の普及に関するNPO連絡協議会』、『証券知識普及プロジェクト』
「学校における経済・金融教育の実態調査」より作成

現場の望む支援体制



出所:「学校における経済・金融教育の実態調査報告書」より作成



教育現場の声としては・・・

☆金融経済教育は重要であり、実施したい！！



☆しかし、実際には実施できていない・・・

理由：「教員が学ぶ機会がない又は少ない」(62.7%)

「授業の時間がとれない」(57.4%)

「利用可能で適切な教材・指導書がない」(41.2%)

☆現場は、行政や金融機関などの支援を望んでいる

現状では、欧米のように国としての金融経済教育制度が整っているわけではない



■ 5. 課題解決に向けた提言



金融経済教育体制の 整備、確立

(Ⅰ) 金融経済教育の政策目標設定、
及び諮問機関の設立

(Ⅱ) 日本版シチズンシップの導入




【 キーワード 】



「一元化」

「現場目線」



(I)金融経済教育の政策目標設定、 及び諮問機関の設立

- ◆国として目指す**具体像を明確に**！
- ◆**学校教育**としての金融経済教育を確立！

1. 国が政策として金融経済教育の本格導入を進める
2. 金融経済教育を円滑に進めるための諮問機関を設置
3. 現場の実態に即した支援体制を設ける

新組織の概略図

政策として掲げる

政府

連携

金融経済教育導入室

- ・専門家
- ・企業の社員
- ・NPO
- ・教育者
- などの有識者で構成

指示

行政

官僚

指示

金融教育支援の一元化

厚生労働省

財務省

文部科学省

経済産業省

金融庁

消費者庁

国としての枠組みや
法制化などを実行

金融経済教育普及推進委員会 ※1

FEET

教材作成委員会

社員
専門家

企業・NPOなど

講師の派遣
教材の提供
広報活動
要請

小学校

中学校

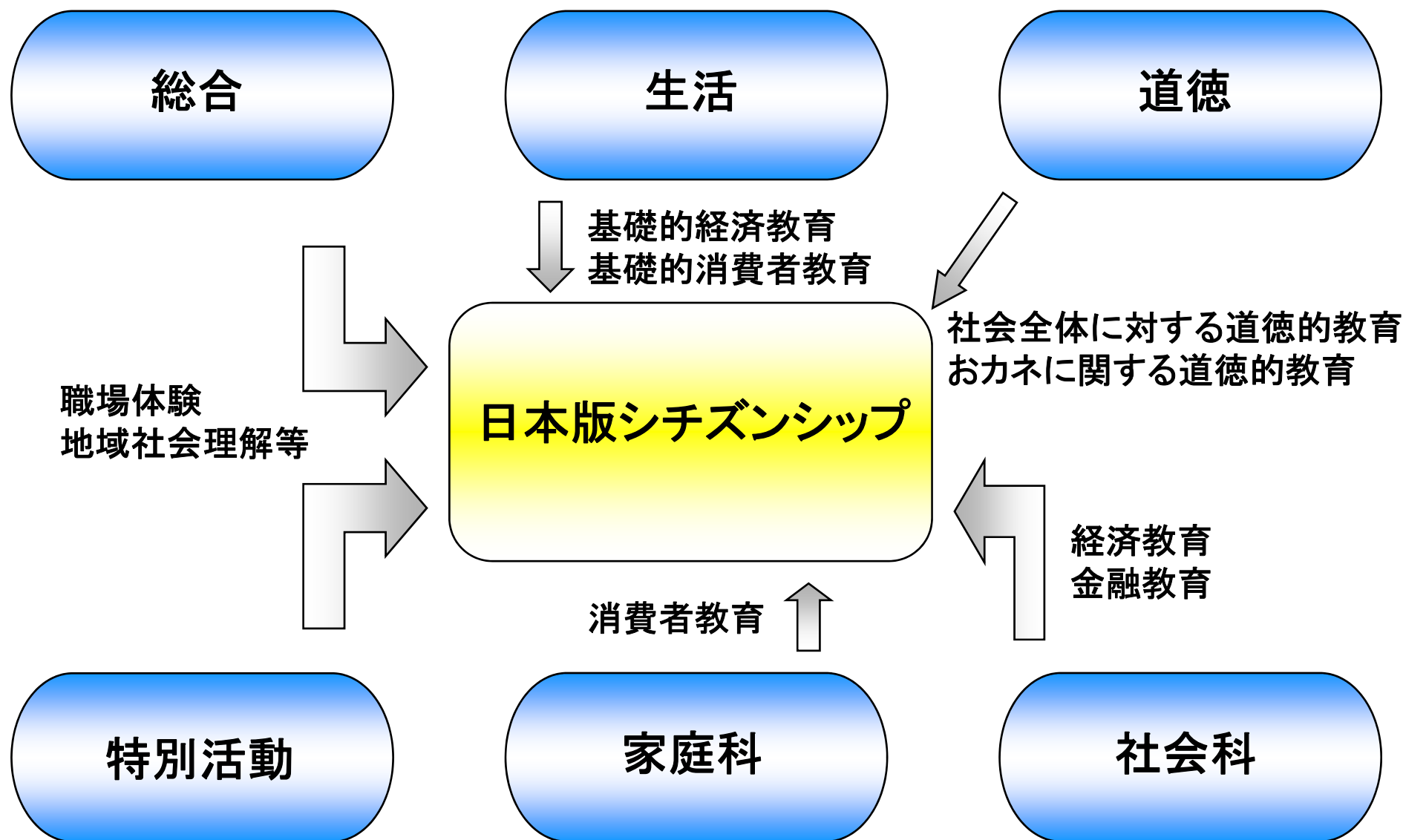
高校

大学

※1
・パンフレットの作成
・セミナー(教員向けを含む)等の開催
のような、
推進活動を行う

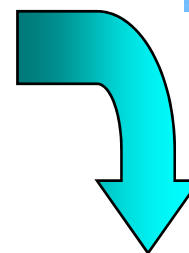


(Ⅱ)日本版シチズンシップの導入



★金融経済に興味を
持たせることが重要

ゲームやグループワークなどを導入し、
興味を持たせる学習を進めていく



高校



- ・引き続き基礎的な学習
- ・資産形成の学習
- ・起業家教育
- ・高度の消費者教育

中学校



- ・お金に関する基礎的な知識の学習
- ・社会経済の基礎的な仕組みの学習

小学校





■ 6. おわりに

一人ひとりが「Better」な生活を
目指していくこと

それこそが・・・

国として進むべき「Best」な道なのである



Thank you for listening !!

早稲田大学商学部
阪上 賢太
木村 知晶
大澄 好成